



安心のマネージドCMSサービス「Movable Type クラウド版」

ウェブサイトのセキュリティ事情と クラウド型CMSを活用した対策について

2017.12.14 版



インターネットが、生活や企業のインフラになったことにより、その利用者を狙った攻撃（サイバー攻撃）による被害は増加の一途をたどっています。

セキュリティに関する脅威

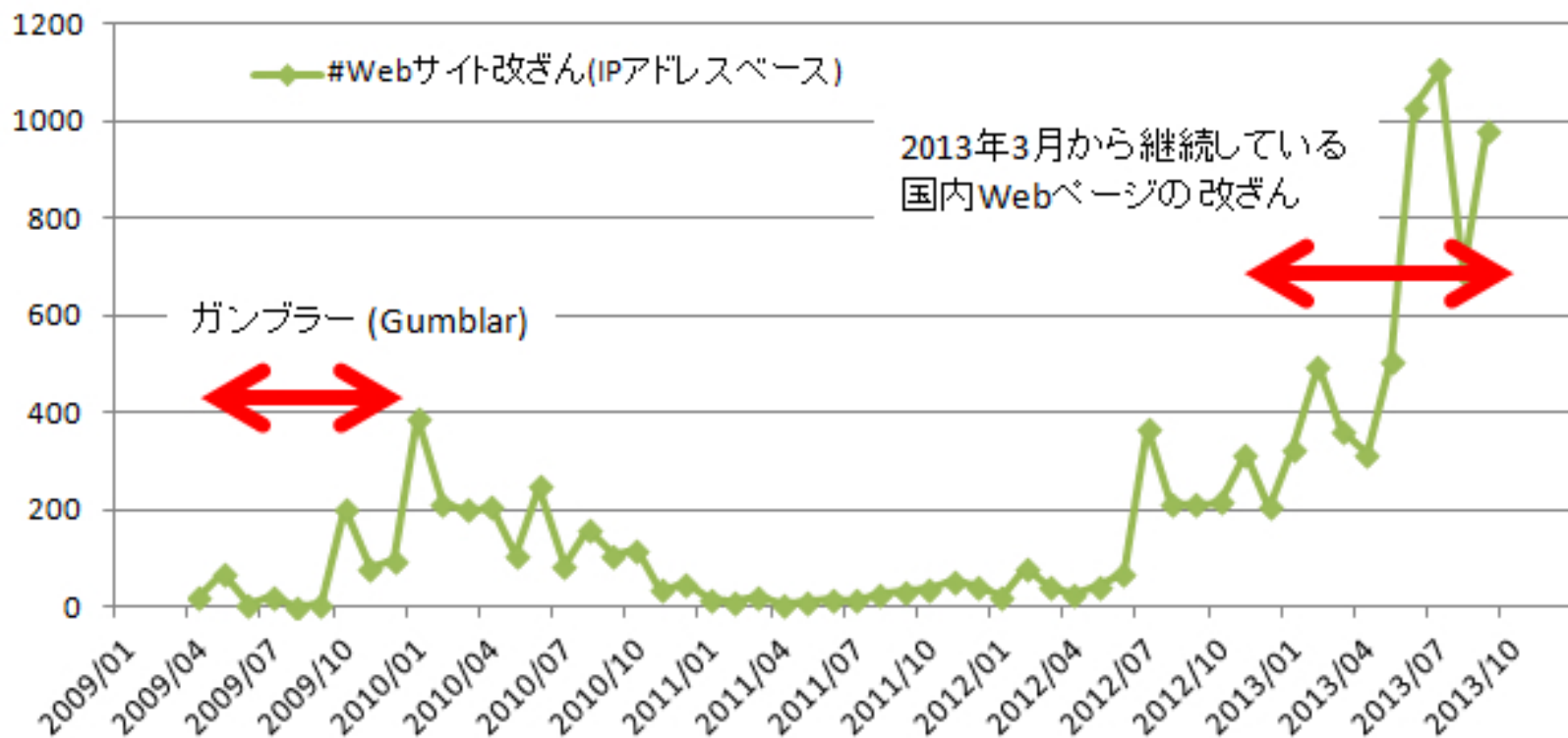
- 1 クライアントソフトの脆弱性を突いた攻撃
- 2 標的型諜報攻撃
- 3 スマートデバイスを狙った悪意あるアプリの横行
- 4 ウィルスを使った遠隔操作
- 5 金銭窃取を目的としたウィルスの横行
- 6 ウェブサイトを狙った攻撃
- 7 パスワードの流出
- 8 フィッシング詐欺

出典：『2013年版 10大脅威』/独立行政法人情報処理推進機構セキュリティセンター



ウェブサイトを狙った攻撃のうち、「ウェブページの改ざん」は年々被害件数が増加しています。

出典: JPCERT/CC インシデント報告対応レポート
グラフ: <http://www.nca.gr.jp/2013/web201303/>



CMSの権限窃取のほか、FTP情報の奪取により ウェブサーバ自体ののっとりも横行。



不正アクセスによる
サイト改ざん

設定ミスによる
情報漏えい

ウィルスの設置
意図しない配布

フッシング詐欺
への悪用



情報発信に欠かせないウェブサイトですが、セキュリティ対策を怠ると多くの被害を被ることになりかねません。

1 企業／サービスブランドの失墜

2 売上機会の逸失

3 企業価値(株価等)下落

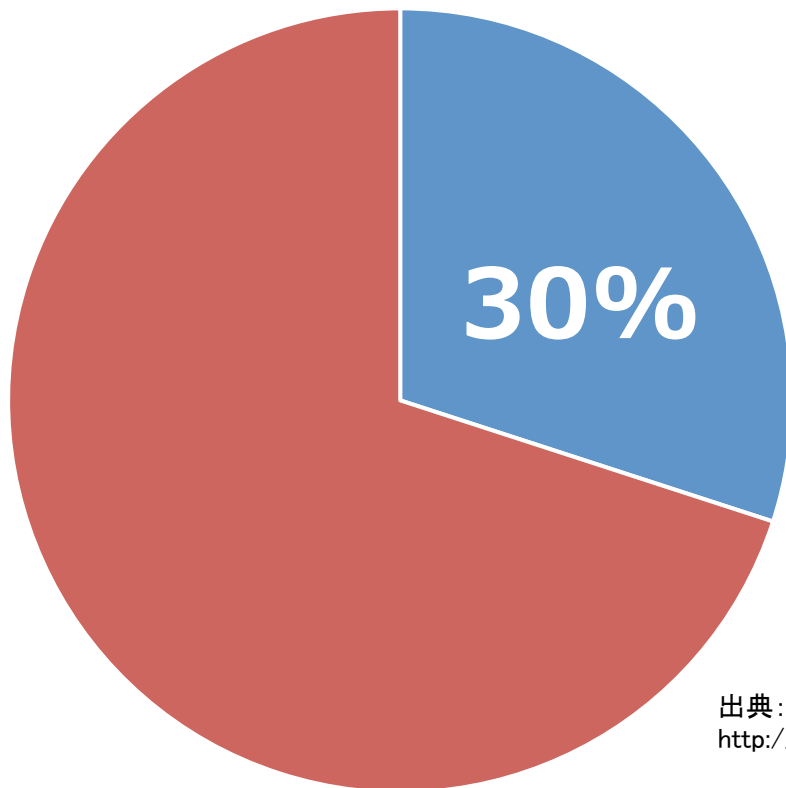
4 損害賠償等

5 法令違反

御社のウェブサイトは大丈夫ですか？



ウェブサイトの情報量増大にあわせて、コンテンツ管理のためのソフトウェア（CMS : Content Management System）の利用が増えています。自社商品の紹介や（オウンド）メディアの構築など、CMSはウェブサイト構築には欠かせないものとなっています。



出典: W3Techs
<http://w3techs.com/>

全世界のウェブサイトの約30%がCMSを利用している



攻撃者にとってソースコードが参照できるオープンソースのCMSは、脆弱性の特定も攻撃方法を立てることも容易です。また、脆弱性の「発見」をユーザーに頼ることが多いため、開発元による脆弱性情報の公開から対策が講じられるまでに、多くの時間が必要になるため、いわゆる「ゼロディ攻撃」につながります。

また、一元的なサポートや情報提供が少なく、多くは公式の日本語サイト也没有せん。そのため、ユーザー企業自らがアップデート情報や、適切な運用に必要な情報を収集し、対応する必要があります。更に、CMSにインストールされているプラグインにも同様の作業が必要です。オープンソースのCMSは導入時には低コストに感じられますが、攻撃者にとっては格好の標的となりやすく、その対策には多くの時間と作業、つまりコストが発生します。

オープンソースCMSの脆弱性対策の課題例

- ❖ CMSが特定されやすい・攻撃者が脆弱性を特定しやすい（攻撃が容易）
- ❖ 利用する企業側でアップデート情報をキャッチアップする必要がある
- ❖ 脆弱性の解決までに多くの時間と作業が必要となるケースが多い
- ❖ ホスティング環境では迅速なアップデートが困難
- ❖ CMSへの攻撃検知・防御には専門的な知識が必須



セキュリティに強いCMSソフトウェア、Movable Type

Movable Typeは、
オウンドメディアから大企業のCMSプラットフォームまで
さまざまな用途で5万サイト以上の導入実績があります。



CMS



イントラサイト



ビジネスブログ (オウンドメディア)



コミュニティ



Movable Type は、セキュリティ攻撃の脅威からウェブサイトを守るため、さまざまな対策を行っています。

タグだけでセキュアなサイトを構築

PHPやSQLなどのプログラムを記述することなく、HTMLとMTのテンプレートタグだけで、ウェブサイトを安全に構築できます。プログラムとテンプレートが完全に分離されているため、セキュリティ上の問題や、意図しないデータ破壊が発生することがありません。

不正ログインに対するアカウントロック

Movable Type にログインする際に、一定の回数以上、ユーザー名とパスワードを間違えると、ユーザーのアカウントがロックされる「認証ロックアウト機能」を搭載しています。これにより、ユーザーアカウントへの辞書攻撃などによる不正ログインを防ぎます。

CMSと公開サイトのパスを分離可能

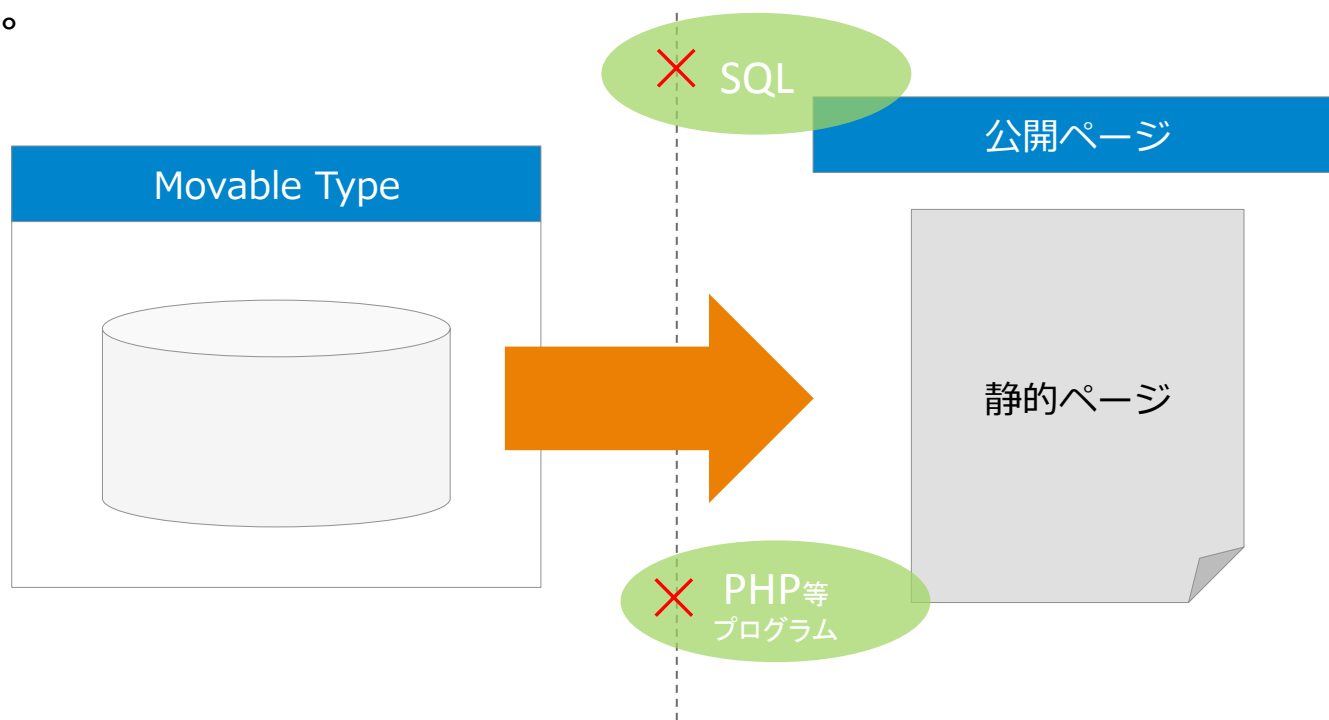
管理画面のURLが、公開サイトの直下などの決められた位置になってしまうシステムが多くありますが、Movable Type は、さらに深い階層や、全く異なるパスに設置することも可能なため、外部からのセキュリティ攻撃を受けにくくなっています。

細かな権限設定で役割を明確に

ユーザーの権限をロール（役割）により指定できます。代表的なロールがあらかじめ設定されているため、簡単に権限設定が可能です。ユーザーごとに適切なロールを設定することで、不慮の事故を防ぎ、複数名のチームによる安全なウェブサイト運用が可能になります。



PHPやSQLなどのプログラムを記述することなく、HTMLとMTのテンプレートタグだけで、ウェブサイトを安全に構築できます。プログラムとテンプレートが完全に分離されているため、セキュリティ上の問題や、意図しないデータ破壊が発生することがありません。



静的ページに出力することでPHP/SQL等の実行コードを除外



管理画面のURLが、公開サイトの直下などの決められた位置になってしまうシステムが多くありますが、Movable Type は、さらに深い階層や、全く異なるパスに設置することも可能なため、外部からのセキュリティ攻撃を受けにくくなっています。

フロントの公開URL

<http://example.com>

MT(CMS)管理URL

推定されやすい

<http://example.com/mt/>

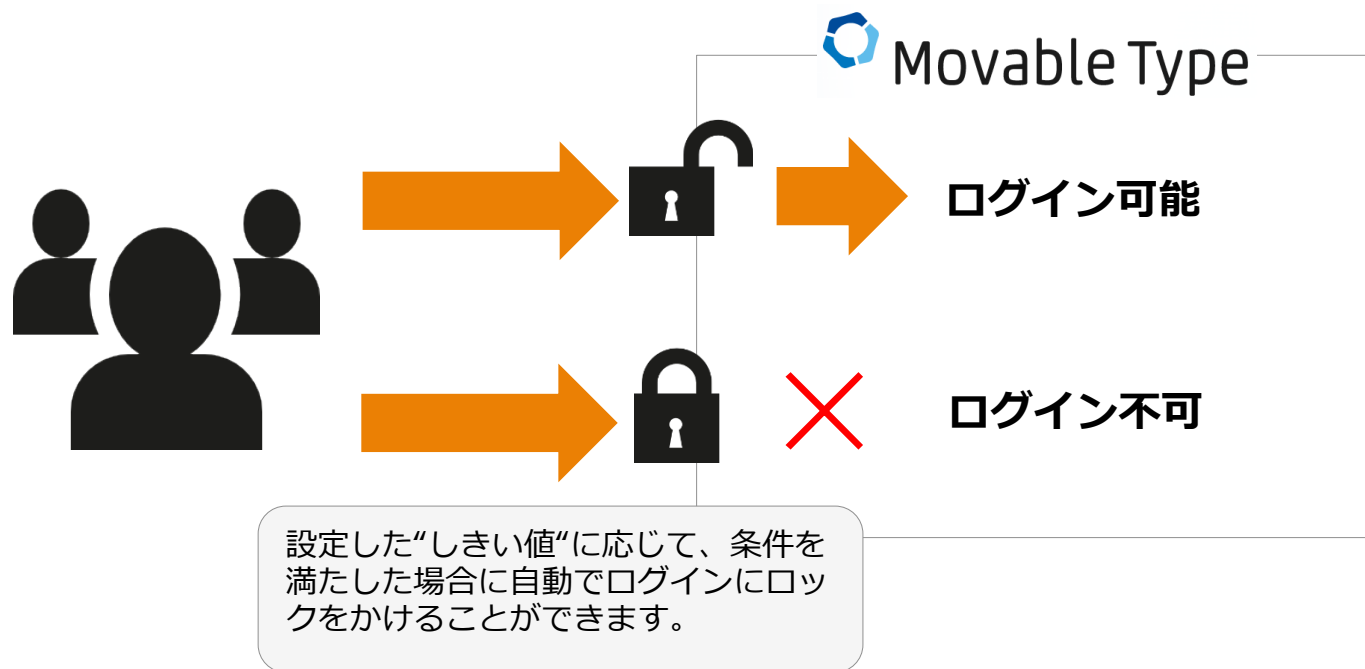
推定されにくい

<http://xxx.example.com/>

CMSの管理画面URLを推定されづらい“任意のURL”での設定が可能



Movable Type にログインする際に、一定の回数以上、ユーザー名とパスワードを間違えると、ユーザーのアカウントがロックされる「認証ロックアウト機能」を搭載しています。これにより、ユーザーアカウントへの辞書攻撃などによる不正ログインを防ぎます。



しきい値でのロックをかけることで“総当たり攻撃”を回避することができます



ユーザーの権限をロール（役割）により指定できます。代表的なロールがあらかじめ設定されているため、簡単に権限設定が可能です。ユーザーごとに適切なロールを設定することで、不慮の事故を防ぎ、複数名のチームによる安全なウェブサイト運用が可能になります。



不用意に権限を付与しないことも重要



ソフトウェアバージョンアップの重要性

ソフトウェアのバージョンアップは、機能追加や操作性の向上が目的とされがちですが、セキュリティの強化も含んでおり、バージョンアップの放置は「セキュリティの脅威」につながることになりかねません。

操作性向上

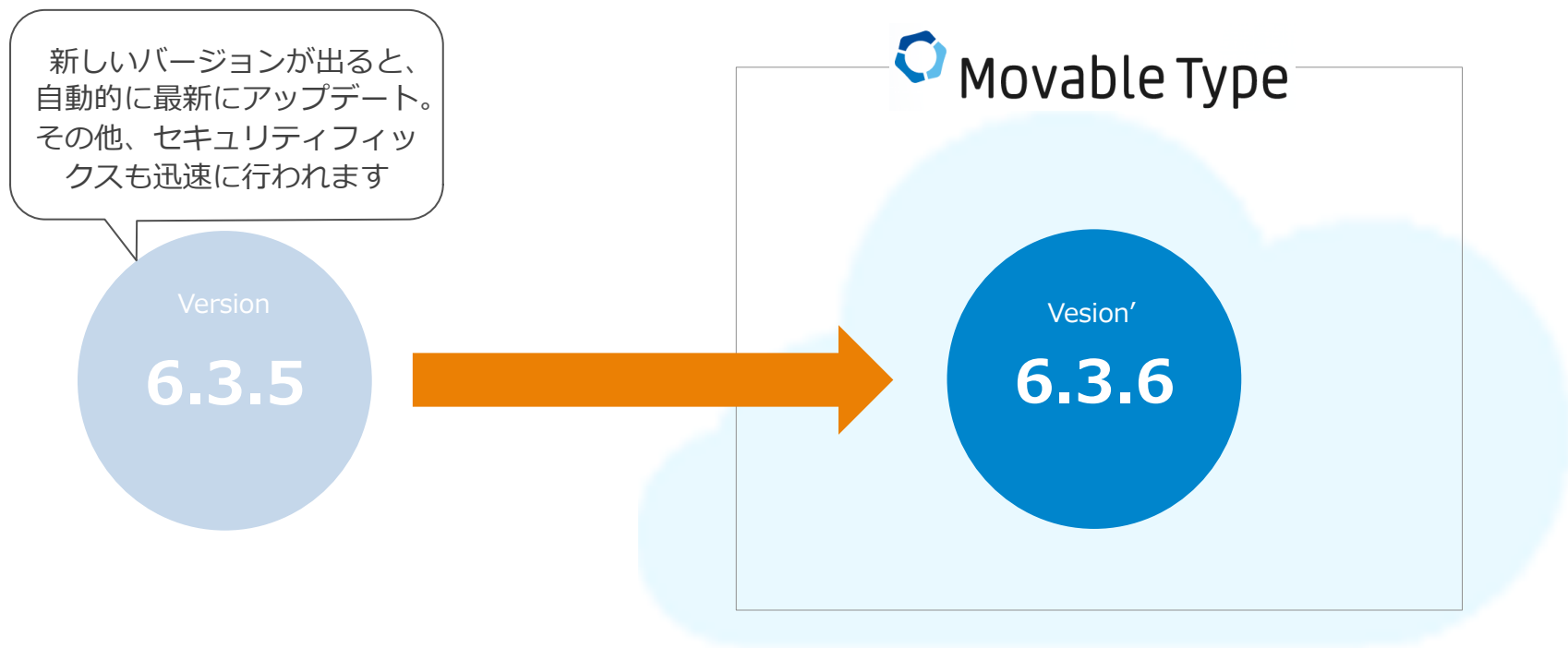
機能性向上

セキュリティ
強化

バグ修正

クラウド版ならバージョンアップ、セキュリティフィックスもお任せ

Movable Type クラウド版 なら、常に最新のバージョンに自動的にアップデートされるため、面倒な更新作業は不要です。WebサーバーやOS、その他、Movable Type 以外の脆弱性対策にも迅速に対応。自社で脆弱性対策や障害対応などを行う必要がないため、サーバー管理者が不在でも、常に安全な環境でウェブサイトを運用できます。



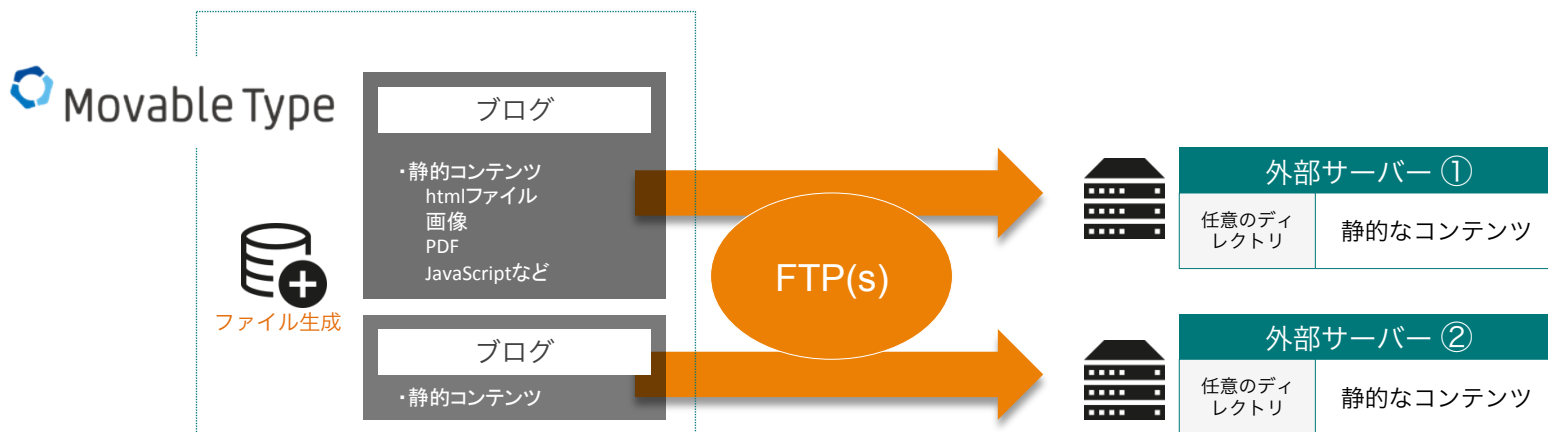
バージョンアップは自動、セキュリティ対策もお任せ！

※Movable Type のアップデート時、事前に検証をされたい場合は、自動アップデートを無効化できる機能も付いており、最新版のリリースから30日間、自動アップデートを止めることも可能です。



サーバ配信機能で情報漏洩防止に対応

新製品情報やIR情報などが、記事に付属するPDFや画像ファイルの事前アップロードにより漏洩し、問題となるケースがあります。「サーバ配信機能」を使えば、Movable Type で生成したファイルを外部の公開サーバに配信して公開でき、事前にPDFや画像ファイルが漏洩してしまいうことがありません。さらに、公開サーバ上にはCMSの実行環境を置かずに済むため、不正アクセスなどのセキュリティリスク低減にもつながります。



- ☑ Movable Type をステージング環境及び公開コンテンツのバックアップとして利用できる
- ☑ 既存のサーバをそのまま公開サーバとして利用できる
- ☑ コンテンツ公開用の外部サーバには静的データを同期するだけのため Movable Type は不要
- ☑ ブログ単位で配信先を任意に指定できるので、1つの Movable Type で複数のサイトの管理が可能
- ☑ ECサイトやその他のプログラムと同じサーバ内（サイトの一部）でMTを使用している場合、MTの部分のみをクラウド版に移行し、元のサーバに配信して公開することも可能



1

初期コストの低減

クラウドサーバを含んだ月額での払いきりサービスのため、コストが初期費用に偏ることはありません。

毎月一定額の利用料でサービスをご利用いただけます。

2

CMS稼働環境の最適化

環境が、Movable Type に最適となるよう徹底的にチューニングされています。そのため、管理画面の軽快な操作性のほか、再構築スピードの高速化など、高いパフォーマンスを実現しています。

3

別途のサポート費用不要

Movable Type クラウド版の月額料金には、シックス・アパートによるテクニカルサポートが付属しています。

別途費用を支払う必要がないため、サポートコストを気にせずご利用いただくことができます。

4

引っ越しサポート（無料）

現在、既にサイトを運用中の場合、CMSの導入、バージョンアップ、データの移行などの作業は簡単とは言えません。

そんな場合はぜひ、「Movable Type クラウド版 無料引っ越しサービス」をご活用ください。



Movable Typeクラウド版 独自の機能

ベーシック認証機能

管理画面から特定のURL（ページ）に対してベーシック認証を設定できます。同一のURLに対して複数の認証設定が可能です。

HTTPリダイレクト機能

特定のページにアクセスがあった場合、予め指定したページを自動的に表示することが可能です。

FTPSアカウント

FTPSを利用することでプラグインやテーマ、画像など複数のファイルの一括アップロードが可能です。

データバックアップ機能

前日分のバックアップデータを自動的に保持します。また、シックス・アパート側で1日に1回、最新のデータを物理的に異なる場所に設置したデータストレージに自動的にコピーして二重のバックアップをしています。データセンターがサービス不能やデータ消失に陥った場合でも、最新のバックアップデータを使ってウェブサイトを復元可能です。

SSL証明書更新機能

管理画面から、すでに導入済みのSSL証明書の更新が可能です。また、CSRが不要の一部SSL証明書は新規追加も可能です。

MT環境変数編集機能

管理画面上から、MT環境変数を編集したり、追加・削除することが可能です。※ 一部、利用できない環境変数があります。

環境のリストア機能

1日に1度、ウェブサイト全体を自動的にバックアップします。意図しない変更を加えてしまった場合も、前日の状態に戻すことが可能です。

ディスク容量の表示

ディスク容量を Movable Type の管理画面上で確認できるようになっています。

サーバー配信機能

Movable Type で生成したコンテンツを外部のサーバーへ配信して公開可能。情報漏えいや不正アクセスなどのセキュリティリスクを低減できます。

※ソフトウェア版では上位版の Movable Type Advanced で提供しています

Movable Typeクラウド版 – 仕様・制限事項 – (1)

	Nginx版	Apache版
提供プラン	S1～M16 全プランで提供	S4～M16プランでのみ提供
OS	CentOS 7 (64bit)	
Webサーバー	Nginx	Apache 2.4 系
データベース	MySQL 5.7 系	
PHP	PHP 5.6 系	
SSHによる接続	不可	
Root権限の提供	不可	
FTPでの接続	FTP / FTPS ※ 2アカウント利用可能	
データベースの操作	不可	
独自CGIの実行	クラウド版に対応した Movable Type プラグインにより追加されたCGIのみ実行可	可 ※ PerlスクリプトをCGIとして実行可能 (拡張子 .cgi) ※ 独自スクリプトの動作を保証するものではありません ※ 独自スクリプトの動作については技術サポート対象外です
独自PHPスクリプトの実行	不可 ※ プラグインにおけるPHPの動作については、開発元サポートでの対応となります	可 ※ php-fpm で動作します ※ 独自スクリプトの動作を保証するものではありません ※ 独自スクリプトの動作については技術サポート対象外です
Perl モジュールの追加	一部可 ※ プラグインのextlibによる追加が可能 ※ コンパイルが必要なモジュールは追加できません	
PHPモジュールの追加	不可	
.htaccessの使用	不可	可 ※AuthConfig / Indexes / FileInfo / Limit のみ
Basic認証の利用	可 ※ MT管理画面から可能	可 ※ .htaccess で可能 ※ MT管理画面から設定不可
URLリダイレクトの利用	可 ※ MT管理画面から可能	可 ※ .htaccess で可能 ※ MT管理画面から設定不可
公開サイトへのIPアドレスによるアクセス制限	可 ※ MT管理画面から可能	可 ※ .htaccess で可能 ※ MT管理画面から設定不可

Movable Typeクラウド版 – 仕様・制限事項 – (2)

	Nginx版	Apache版
ユーザーエージェントを利用したアクセス制限・リダイレクト	一部可 ※ S4以上のプランでサポートにて個別対応可	可 ※ .htaccess で可能
マルチドメインでの公開	可 ※ S4 以上のプランでMT管理画面から可能（最大10件まで）	
公開サイトのHTTPS対応	可	
MT管理画面のHTTPS対応	可	
公開サイトのSSL証明書	可 ※ MT管理画面から可能 ※ ウェブサイト単位で設定可能 ※ SSL証明書は別途取得してください	
MT管理画面のSSL証明書	MT管理画面から可能	
サーバーサイドインクルード	可 ※ Apache方式の サーバーサイドインクルードを利用可能	
管理画面のBasic認証	MT管理画面から可能	
管理画面へのIPアドレスによるアクセス制御	MT管理画面から可能	
MT管理画面URLの変更	MT管理画面から可能	
mt-config.cgiファイルの直接編集	不可	
MT環境変数の変更	MT管理画面から設定可能 ※ 一部の環境変数は設定・変更できません	
管理画面のカスタマイズ（alt-tmp機能）	可	
アップロードファイルの上限サイズ	20MB	
プラグインのインストール	可 ※ すべてのプラグインの動作を保証するものではありません	
MTのソースコードの編集	不可	
cronの設定	不可	
定期実行（run-periodic-tasks）	5分毎（固定）に実行	
ディスク容量の確認	MT管理画面から可能	
死活監視	Movable Type の死活監視のみ ※ 公開サイト側の監視はしていません	
アクセスログの取得	可 ※ 最大30日分	

Movable Typeクラウド版 – 仕様・制限事項 – (3)

	Nginx版	Apache版
サーバー配信機能の配信方法	FTP (S) のみ ※ rsyncはご利用いただけません	
独自エラーページ	可	
定期バックアップ	1日1回（午前1時の時点）	
バックアップデータの管理世代数	1 世代	
サンドボックス	利用可能（申し込み要・有料）	
FTP(s) アカウントのパスワード変更	MT管理画面から可能	
メールボックスの提供	無し ※ Movable Type クラウド版でのメールサービスの提供はありません。 ※ Movable Type クラウド版へのサイト移行をご希望で、現行のホスティングサーバーにて独自ドメインのメールサービスを契約されている場合は、メールサービスの契約を継続されるなど、ご対応ください。	

※個別対応可能なものに関しては、マイページにログインしていただき、お問い合わせフォームよりご連絡ください。



Movable Typeクラウド版 – 導入事例 –

ソニー銀行



<http://blog.moneykit.net/>

この事例のポイント

- ◆ サーバー周辺の保守・運用をアウトソーシング化するため、クラウド版を採用
- ◆ セキュリティ管理上、静的なページを生成できる点も決め手に
- ◆ アカウントの権限を細かく設定・管理して運用
- ◆ モバイルに配慮しレスポンスWebデザインを採用

弥生株式会社



<http://www.sumoviva.jp/>

この事例のポイント

- ◆ ステージング環境と本番環境を分けることによる運用のしやすさ、セキュリティのニーズに対応した運用が可能になった
- ◆ マネージドサービスという利用ハードルの低さや、サポートの手厚さなどで、安心して運用できている



価格詳細 – クラウド版

プラン	クラウド基盤	CPU	メモリ	ディスク容量	マルチドメイン	Webサーバー	料金（月額・税抜）
S1i	IDCF Light.S1	1CPU (0.8GB相当)	1GB	10GB	X	Nginx	5,000円
S2i	IDCF Light.S2	1CPU (1.6GB相当)	2GB	10GB	X	Nginx	8,000円
S250i	IDCF Light.S2	1CPU (1.6GB相当)	2GB	50GB	X	Nginx	12,000円
S4i	IDCF Standard.S4	1CPU (2.4GB相当)	4GB	10GB	○	Nginx / Apache	19,000円
S450i	IDCF Standard.S4	1CPU (2.4GB相当)	4GB	50GB	○	Nginx / Apache	28,000円
S4100i	IDCF Standard.S4	1CPU (2.4GB相当)	4GB	100GB	○	Nginx / Apache	35,000円
S4300i	IDCF Standard.S4	1CPU (2.4GB相当)	4GB	300GB	○	Nginx / Apache	60,000円
S4500i	IDCF Standard.S4	1CPU (2.4GB相当)	4GB	500GB	○	Nginx / Apache	85,000円
M450i	IDCF HighCPU.M4	2CPU (2.6GHz相当x2)	4GB	50GB	○	Nginx / Apache	42,000円
M4100i	IDCF HighCPU.M4	2CPU (2.6GHz相当x2)	4GB	100GB	○	Nginx / Apache	60,000円
M1650i	IDCF HighMEM.M16	2CPU (2.2GHz相当x2)	16GB	50GB	○	Nginx / Apache	67,000円
M16100i	IDCF HighMEM.M16	2CPU (2.2GHz相当x2)	16GB	100GB	○	Nginx / Apache	87,000円
M16300i	IDCF HighMEM.M16	2CPU (2.2GHz相当x2)	16GB	300GB	○	Nginx / Apache	107,000円
M16500i	IDCF HighMEM.M16	2CPU (2.2GHz相当x2)	16GB	500GB	○	Nginx / Apache	127,000円

※テクニカルサポートは月額料金に含まれます。 ※1年一括払いも可能です。 ※S4以上のプランで提供しているApache版は、プラン名の最後に a が付きます。
 ※全てのプランで仮想マシン1台専有。利用可能ユーザー数、ブログ・サイト数は無制限です（ただし複数のドメインでの運用はS4以上のプランでの契約が必要です）。
 ※上記ディスク容量に、コンテンツのバックアップファイル（1世代保持）および Movable Type のシステム領域は含まれません。
 ※上記の通常プランのほかに、最適なプランやオプションサービスをカスタマイズして提供する「プライベートサービス」もご用意しています。
 ※クラウド版においては、Movable Type 6 のメンテナンスが Movable Type 7 リリースから4年後まで行われます。

通常のプランのほかに、大規模サイトや、非常にアクセスが予想されるなど負荷の高いサイトに向けて、最適なプランやオプションサービスをカスタマイズして提供する「プライベートサービス」もご用意しています。

プライベートサービスでできること

- ❖ 仮想マシン、ネットワークなどのリソースの専有
- ❖ 通常提供プランに加え、専用のプラン（M4、L8）からも選択可能
- ❖ 異なるプランを含め、132台まで1契約にまとめて利用可能
- ❖ 従量課金によるネットワーク利用
 - ✓ 2Gbps のベストエフォート通信（ネットワーク全域、帯域保証なし）
 - ✓ 料金は月々 3TB まで無料（超過分：10円 / GB）
※ 帯域保証オプションを利用することで、定額利用可能

プライベートサービスでできること

❖ 帯域保証オプション

- ✓ 月額：30,000円（税別）
- ✓ 帯域保証 100Mbps（上限 100Mbps）
- ✓ 1プライベート契約単位で、サーバー単位ではありません。

CDNサービス、サンドボックス作成サービスなど、通常プランで提供しているオプションサービスも合わせてご利用可能です。

まずはお問い合わせを

詳細、ご利用方法等については、まずは下記よりお問い合わせください。担当者よりご連絡させていただきます。

<https://www.sixapart.jp/inquiry/movabletype/cloud-private.html>



Movable Typeクラウド版 無料引っ越しサービスのご案内

CMSのバージョンアップ、データの移行などの作業は簡単とは言えません。
そんな場合はぜひ、「Movable Type クラウド版 無料引っ越しサービス」をご活用ください。

Movable Type をご利用の方

現在 Movable Type の古いバージョンで運用しているサイトを、最新バージョンにしたい方や、バージョンアップのためだけに高いコストをかけられない方におすすめです。

Movable Type 以外のCMSをご利用の方

Movable Type 以外のサイトからの移行をご希望の場合はお問い合わせください。記事データや画像ファイルの移行が可能な場合があります。

無料

ご利用には Movable Type クラウド版 にお申し込みが必要です

Movable Type クラウド版にお申し込みいただき、正式契約から1年以内に、1回のみ申し込み可能です。正式契約後、Movable Type クラウド版マイページにログインいただき、無料引っ越しサービスにお申し込みください。お申し込みの際は、下記のURLに掲載されている各種条件を必ずお読みください。お申し込み前に移行が可能かどうか確認することも可能です。お問い合わせフォームよりお問い合わせください。

無料引っ越しサービスの詳細・お問い合わせはこちら

<http://www.sixapart.jp/movabletype/cloud/migration-service.html>



製品詳細

購入

トライアル

最新
情報

<https://www.sixapart.jp/movabletype/>

詳しい使い方
ドキュメント

<https://movabletype.jp>

お問合せ

<https://www.sixapart.jp/support/>

シックス・アパート株式会社

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町3-17-15 ヨシダFGビル5F